**ハンドマイク街頭演説原稿例　本気の野党共闘で政権交代を**

二〇二〇年九月二八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日は、この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、菅首相は、自身の国家観を問われ、「自助・共助・公助」だと答えました。「まずは自分でやってみる」ことが大切と、国民に引き続き「自己責任」を押し付けています。しかしながら、私たち国民は苦しいなかでも、すでに仕事もくらしも必死に維持しようと頑張っています。政治がいまやるべき仕事は国民の暮らしをよくする「公助」ではないでしょうか。「効率最優先」の安倍自公政権を継承し、国民にさらなる自助努力を求める政治では、私たちのいのちや暮らしは守れません。

日本共産党は、「市場に任せればすべてうまくいく」という新自由主義の政治を根本から切り替えていきます。いのちと暮らしを守る医療・福祉を充実させ、だれもが８時間働けば普通に暮らせるルールある社会をつくるために全力をつくします。まずは、首班指名のみで閉会した国会をただちに再開し、内政、外交、コロナ対応など国政の重要課題について、首相の所信表明演説をうけた徹底的な国会質疑を強く求めていきます。

みなさん、防衛省は、来年度の軍事費について、概算要求として過去最大の５．５兆円を要求する方針を固めました。コロナ禍のなかで、韓国や東南アジアの国々は軍事費を削り、コロナ対策に回しています。これらの動きと比べて、日本の大軍拡はあまりにも異常ではないでしょうか。しかも、内容がきわめて問題です。外国への事実上の「先制攻撃」となる憲法違反の「敵基地攻撃能力」の向上や、地元の強い反対で断念した陸上配備型迎撃ミサイルシステム・「イージスアショア」の代替策まで盛り込まれています。新型コロナの影響による解雇者が６万人にものぼるなか、日本共産党は、「敵基地攻撃能力」の保有に断固反対し、「軍事費を削って、コロナ対策に回せ」とつよく求めていきます。

　みなさん、菅政権が発足しましたが、このままでは「安倍首相のいない安倍政権」が続いていくだけではないでしょうか。来るべき総選挙では、主権者・国民の力で安倍政権が進めてきたおかしな政治をなんとしても終わりにしていこうではありませんか。

そのためにも、日本共産党は、野党による政権構想の合意と共通の政権公約、小選挙区での選挙協力の実現という本気の野党共闘をつくりあげ、来るべき総選挙で政権交代の実現に全力を挙げます。もし共産党が政権に加わることになっても、天皇制や自衛隊への考えなど共産党独自の見解は政権には決して持ち込みません。まずは、安倍政権が強行した安保法制を廃止し、立憲主義の回復、国政の私物化の一掃などアベ政治の「負の遺産」をなくすために全力を尽くします。来るべき総選挙での野党共闘の勝利と日本共産党躍進へ、みなさまの大きなご支援を重ねてお願いいたします。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）